



*PTA かわら版は、市内小中学校の校長先生および PTA 会長様あてに発行しているものですが、職員や P T A 役員の皆様にもご回覧ください。

第 66 回日本 P T A 全国研究大会新潟大会



「書」パフォーマンス 作品

8月24日(金)・25日(日)の両日に、新潟県内各地を会場に「第66回日本PTA全国研究大会新潟大会」が開催されました。「教育は未来を拓く 新潟発 米百俵の精神! ~新潟に集い、語ろう 未来のひとづくり~」をテーマに、10の分科会と全体会が行われました。

テーマにある「米百俵」とは、幕末に活躍した長岡藩士小林虎三郎のことば「百俵の米も、食べばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵となる」にちなむものです。戊辰戦争で敗れた長岡藩が窮乏し、食うや食わずの状態の時、支藩から送られた百俵の米を売却して教育にあてたということでした。

初日は、10の分科会で「家庭教育」「地域連携・広報」「情報と人権」などの分野で、基調講演やパネルディスカッションが行われ、熱い討議が交わされました。特1分科会では、仙台大会に引き続き「いじめ」をテーマに活発な意見が交わされました。

2日目の全体会では、アトラクションとして「書」のパフォーマンスが小学校、久須美兄弟、プロの書家によって行われ、見事な作品に歓声が上がりました。その後、俳優の高橋克実氏が登場し、俳優になるまでの苦労や思いを、ユーモアを交えながら講演しました。



昨年は、仙台市で行われたこの大会ですが、仙台市からは41名の会員が参加し、それぞれに研修を深めるとともに、昨年使用した緑のポロシャツを着て、昨年度の感謝と御礼をしてきました。各会場のスタッフから、「仙台ではお世話になりました」の声をあちこちでかけられ、昨年度仙台大会の達成感を改めてかみしめてきました。

